

市立病院の
パワーアップ
プラン

小林 郁子(市民ネット)



問 静療院を再編し、一般精神部門の本院への移転を早期に進め、現在の静療院を児童専門の心療福祉センターに転換し、将来に向けてさらに機能を拡充していくべきと考えるが、こうしたプランの実現に向けてどう取り組んでいくつもりか。現在の小児特殊病棟やのぞみ学園は、施設の老朽化が著しく、診療環境として適切とはいえない状況にある。この全国的にも数少ない重要な児童精神の専門医療施設について、今後の整備をどのように考えているのか。

答 早期の精神的ケアを行う部門としての静療院児童部門

の存在意義は大きいと認識している。まずは、来年四月に児童部門を(仮称)児童心療福祉センターとして再編したい。また、同センターの将来に向けた機能の拡充については、静療院の再編状況も考慮しながら、医療と福祉が密接に連携した児童精神・発達障害が児のための機関の在り方について、検討を進めていきたいと考えている。

小児特殊病棟およびのぞみ学園は、今後、静療院全体の再編を早期に進め、それに伴う施設の有効活用を考える中で、その方策を検討していきたいと考えている。

ごみの減量化

村山 秀哉(自民党)

問 名古屋市では、保健委員制度を導入し、ごみの分別方法やごみ出しルールの指導を徹底して行っている。本市でも、類似の制度導入を検討すべきと考えるが、いかがか。

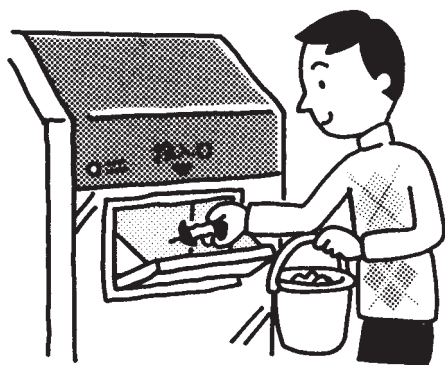
同市は集合住宅における大型ごみ処理機の設置に対し助成を行っている。この制度を本市でも導入する価値があると思うが、いかがか。

現在、本市で、マンション

の一角に生ごみ処理機を試験的に設置していることは意義あることと考える。マンションだけでなく、商店街の空きスペースにも設置することを提案したいと思うが、いかがか。

答 現在、本市では、クリーンさつぽろ衛生推進員制度があるが、今後、クリーンさつぽろ衛生推進協議会や町内会などと連携し、ルール順守の徹底を図るよう、普及啓発に努めていきたい。

大型生ごみ処理機設置への助成については、今年度のモデル事業では、参加住民の意識調査からも生ごみ堆肥化の有効な施策と判断している中で、集合住宅や、商店街への設置支援について、検討していきたい。



可決された議案

●一般会計補正予算

次の内容で総額5億6,818万5千円を補正するものです。

①地域ぐるみの学校安全体制整備モデル事業に関する経費の追加
②特別養護老人ホームおよび軽費老人ホームの新築費補助金の追加
③特殊地下壕の埋め戻しに要する経費の追加
④不足が生じる見込みとなった法人市民税の還付金などの追加
⑤地下鉄駅のエスカレーター整備に関する繰出金の追加

●札幌市公衆に著しく迷惑をかける風俗営業等に係る勧誘行為等の防止に関する条例案

市民や観光客などの安全で安心な生活環境を確保することを目的として、繁華街を中心とした一定区域内の公共の場所における性風俗店などでの稼働などに係る勧誘行為や卑わいな広告物の掲示などを禁止するとともに、条例の規定に違反してこれらの行為を行った者に対して、刑事罰を科す内容を定めるものです。

このほか、札幌市営住宅条例の一部を改正する条例案など合計84件が可決、承認または同意されました。

●文教委員会

<9月22日>手稲宮丘小学校(西区宮の沢3の2)、陵北中学校(西区二十四軒2の3)を視察しました。

●環境消防委員会

<9月20日>市有施設のアスベスト調査結果について、環境局から説明を聴取し、質疑を行いました。

●建設委員会

<9月20日>市営住宅青葉団地(厚別区青葉1)、市営住宅下野幌団地(厚別区青葉3)を視察しました。

●経済公営企業委員会

<9月12日>2007年F I Sノルディックスキー世界選手権札幌大会の概要、「八窓庵」プレハブ上屋倒壊事故調査の概要について、観光文化局から説明を聴取し、質疑を行いました。

●出資団体等調査特別委員会

<9月16日>札幌市出資団体改革プランについて、総務局から説明を聴取し、質疑を行いました。

このほか、9月21日、30日には、関係する常任委員会において、本会議から付託された議案について、それぞれ審査を行いました。

委員会の主な活動状況

9月11日～10月3日